

会議録様式

審 議 会 名	令和6年度第2回杉戸町総合振興審議会
開 催 日 時	令和6年7月17日(水) 午後1時30分～午後3時25分
開 催 場 所	杉戸町役場第一庁舎3階会議室
会 議 の 議 題	(1) 第6次杉戸町総合振興計画第3次実施計画の事務事業評価 ①農地耕作条件改善事業 ②(仮称)杉戸町コミュニティセンター開設事業 (2) 第2期杉戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略の事務事業評価 ・シティプロモーション推進事業 具体的な事業：公式ホームページリニューアル事業 (3) 第6次杉戸町総合振興計画 後期基本計画の策定状況について
公開・非公開の別	<u>公開</u> ・ 非公開 (公開の場合傍聴者数 0人)
	(非公開の場合理由)
出席委員氏名	【出席委員】 木村三樹男、松村美知子、板橋昇、鈴木豊、宮野尾政子、横井正樹、谷藤恵美、中里圭介、菊地信一、青木恵理、新井晃、茂利浩幸、斉藤智章 【欠席委員】 水野順子、佐々木誠
審 議 の 概 要	
各議題について審議を行った。 詳細は別紙のとおり。	

議事（1）第6次杉戸町総合振興計画第3次実施計画の事務事業評価

①農地耕作条件改善事業

産業振興課より、「農地耕作条件改善事業」について説明。

質疑

（委員）

追加の質問ではありませんが、担当課から具体的な金額や大きさの説明がありイメージがしやすかったので、非常にわかりやすかったです。この事業を応援していかなければいけないなというふうに感じます。

（委員）

現在の農業の担い手の人口において70代以上が大多数だとすると、それがあと5～6年の期限の中でどう解決していくかというのが課題になってくる。この計画によると、令和12年など結構先のものもあるが、できるだけスピード感を持って進めていく必要があると思います。

（産業振興課）

隣接している地区をなるべく一つにまとめて実施するなど、計画上より前倒しの可能性も含めて交渉していきます。

（委員）

農地中間管理機構の農地バンクを活用していく考えはありますか。

（産業振興課）

農地中間管理機構と連携してこの事業を推進しております。

（委員）

つまり、既に取り入れているということですか。

（産業振興課）

取り入れています。今まさに遠野地区においては、この事業と一緒に、農地中間管理機構の手続きもあわせて実施しているところがございます。同意の手続きも一緒

にもらうように並行して行っております。

(委員)

農業に関しては全くの素人ですが、当然農業は応援すべきだと思います。後継者不足や、高齢化している現状を踏まえた上でこういった効率的な政策は当然必要です。若い人が就農しない、農業に魅力がないと感じる原因として、収入的にも安定しないからというところもあるのかなと思います。

地球温暖化の影響もあり、今まで作れた場所で同じものを同じ品質で作れないこともあるかと思います。お米にしても品質の変化もあると思います。

お米に頼らず、魅力ある農産物を、地球温暖化による変化に対応し、町の気候や土壌に適した農産物を新たに開発し、収益性のあるビジネスとしてのイメージがあれば、若い世代が興味を持つのではないかと思います。そのような取り組みも同時に進めていますか。

(産業振興課)

杉戸町においては水稻が約9割であり、その中でまずその人たちの大規模農家と新規就農者に効率よく農地を使って米を作っていただくことが、第一のこの事業の目的です。

それ以外でいえば、豊岡・泉地区が畑作の多い地域です。新規就農者への取組みとしましては、農業委員会事務局において、明日の農業担い手育成塾という事業で、農業経験してない方を受け入れて、新規就農者の育成を実施しております。

現在は塾生で1名、いちご農家を目指す方がいらっしゃいます。

埼玉県では「あまりん」が有名になっており、昨年度も本郷地区で1件、新規就農者でイチゴを生産し始めた農家があります。現在さらにもう1人、塾生として卒業を目指している方がいます。将来的には杉戸町でイチゴ農家になっていただけるように育成しております。

こういったかたちで、米だけではなく、支援している状況です。

②(仮称)杉戸町コミュニティセンター開設事業

住民協働課より「(仮称)杉戸町コミュニティセンターの開設事業」について説明。

質疑

(委員)

防災時の避難場所であった旧中央公民館がなくなってしまったので、地域住民としてどうしようかと考えています。実際に5年前の台風19号の時には中央公民館に17人、指定避難場所である杉戸小学校には、184人避難しました。9月にコミュニティセンターで防災イベントを行う予定と聞いています。コミュニティセンターは災害時の避難場所にしてもらえるのでしょうか。

今後、コミュニティセンターが避難場所として使えるのか教えてください。

(住民協働課)

避難所については担当課が危機管理課にはなりますが、コミュニティセンターの指定管理者と締結した協定書の中で、コミュニティセンターにつきましては、一時滞在施設としております。

(委員)

避難場所として活用できることを地元住民に周知してもよろしいのでしょうか。

(住民協働課)

担当課である危機管理課へは確認いたしますが、基本的に周知していただいても構わないと思います。住民協働課としては、実際周辺に他に公共施設がないですから、避難場所として適切であり、使っていただければと思っております。

(委員)

コミュニティセンターはコミュニティの活性化の場として提供されているかと思えます。様々な方や団体から既に500件以上の利用があると先ほどの報告にもありましたが、それ以外に、指定管理者による自発的なイベントなどの開催実績があればお願いいたします。

(住民協働課)

旧杉小跡地全体としては、杉戸まち・みどり・にぎわい共同企業体が運営しており、自主事業を12回程度やることとなっております。

コミュニティセンター指定管理者の自主事業である講座等については、仕様書上で自主事業を年100回程度開催いただくこととしているところでございます。直近では、6月29日に「みんなの文化祭」という、いろんなサークル活動の様子をお披露目のできる場を開催いただきました。

(委員)

りそな銀行さんと一緒に何か計画できたらいいですね。

(委員)

そうですね。何か一緒に出来たら。

(委員)

コミュニティセンターが家の近所のため、よくイベントをやっているのは知っているものの、事前にいつ何をやるのかが伝わってきません。当日、のぼりが立っているのを見て、イベントを行っていることを知ります。

イベントの開催をどういう人に対して周知しているのでしょうか。普段コミュニティセンターを利用している人たち以外はわからない状態になってしまっているように感じます。

(住民協働課)

周知の方法につきましては、基本的にはInstagramなどのSNSやホームページにより発信しております。

皆さんに伝わってないっていうことであれば、アナログによる方法も検討していきたいと思います。

(委員)

元々中央公民館だった場所ということで、町内には各地区に公民館がある中で、コミュニティセンターは中央地区の公民館といったイメージでよろしいですか。それとも、地区に関わらず町全体の人のための施設でしょうか。当然、それぞれの地区にあ

る公民館も町全体の人が使っているのですが、中央地区の地域の施設という位置づけなのか、それともコミュニティセンターが中心となって杉戸全体の公民館の発信基地となって連携していくのかご説明いただけますか。

(住民協働課)

当然町全体で利用していただく施設ではありますが、旧中央公民館を壊してから建て替えるということで、整備にあたってまずは旧中央公民館利用者にご不便がない形で進めていったことは事実でございます。

基本的には利用料金とかそういったものに関して町民全員同じく利用いただけますし、先ほど利用の団体の内訳を言いましたが、実際にコミュニティセンターで新規で団体登録されてる方が 59 団体、旧中央公民館利用団体が 27 団体ですので、新規の方が増えており、杉戸町唯一のコミュニティセンターとして、旧中央公民館利用団体だけでなく、皆さんで広く使っていただいているものと考えております。

旧中央公民館の取り壊しがあったため、最初のうちはどうしても旧中央公民館利用団体が利用しやすいような形で進めていきましたが、現在は結果も出てるように新規団体の方が多くなっており、結果として町全体で利用いただくことができていると認識しております。

(委員)

「すぎと NEWS」についてですが、毎月 1 回発行とありまして、イベント・講座情報、団体の活動を紹介されていると思います。紙による媒体での PR は良いと思いますが、地区の回覧板など、様々な配布の仕方があると思います。どの程度の範囲で配布しているのでしょうか。公民館に行かないともらえないのでしょうか。

PR の仕方として、SNS もいいですが、この町に住むのは若者だけではないので、自分から求めに行かないと知ることができないのではなく、町から情報を与えてあげるという考えもあると思います。

(住民協働課)

広報紙のように全戸配布は行っておらず、基本的には各公共施設に配架しております。積極的に配布しているわけではありませんが、どこの公共施設に行っても、お配りできるような部数については確保しているところでございます。

(委員)

この施設ができて、こんなことをやっていきますよということを、1年間ぐらいは積極的なPRが必要だと思います。

(委員)

具体的な発行部数はわかりますか。

(住民協働課)

800部と聞いております。

(委員)

イベントもこれをやりましたという紹介だけではなく、来月イベントをやりますから見てくださいますかみたいな発信があると良いと思います。

(委員)

私も4月にあった三遊亭楽生さんの講演についても知りませんでした。

(委員)

私も知っていたら行きたかったです。

(住民協働課)

落語についてはNPO法人総合型スポーツクラブ「すぎスポ」が主催した企画であり、抽選で参加できるものでした。

広報すぎとには掲載しておりますが、知らなかったという声があるということは周知がうまくいかなかった部分があったのかもしれませんが。

(委員)

何も知らない人たちに情報伝達していくことが重要なんだと思います。ですから、その辺は新しい方法を考えていただきたいです。

議事2「第2期杉戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略の事務事業評価」

・「シティプロモーション推進事業（公式ホームページリニューアル事業）」

秘書広報課より、シティプロモーション推進事業、具体的な事業として、公式ホームページリニューアル事業に説明。

質疑

(委員)

調書の中で「町外の方に発信する。」とありましたが、公式ホームページリニューアルは、町民に対してではなくて、町外の人に対しての発信のための事業という認識でよろしいでしょうか。

(秘書広報課)

調書の事業概要では「町外の方に発信する。」と書いてしまいましたが、町内向けの情報発信も目的としているため、「町内外の方に発信する。」と訂正いたします。申し訳ありません。

ですので、町外だけでなく、町内の方も含めて対象としております。

(秘書広報課)

補足になりますが、ホームページの構築は単なる情報の集約ではないと考えています。

自治体のホームページというのは、どうしても情報が多くなってしまいます。以前のホームページをご覧になった方はわかるかと思いますが、パソコンで見れば大きい画面なのである程度は情報が目で拾えるものの、スマートフォンで見ると、小さい画面いっぱい情報を縦にスクロールしながら読むのは大変だったかと思います。

そのため、今回は、Web アクセシビリティとあって、老若男女、外国の人など、いろんな人が見やすいようにという配慮を含めて、リニューアルしました。

さらに、「スギトゴト」という特設サイトでは、町の人々の情報、例えば職人さんの息遣いであるとか、町の人々が取り組んでいることへの特集により、他の地域の人が見ても杉戸町ってこういう町なんだとわかるようにしたいし、町内の人に対しても杉戸町ってこういう良いところがあるよねっていうのをアピールしたい。

「町外の方に発信する。」という言葉にはそんな想いを乗せてあります。

(委員)

この事業について大事な点というのは作って終わりじゃなくて、その後どう活用していくかということが大事だと思います。

新着情報というのがやはりポイントかなと思いますが、どの程度の人員を割いて、新しい情報を更新していますか。専任の職員がいなくなかなかできないと思いますが、この辺はどういうシステムになっていますか。

(秘書広報課)

専任の職員がずっと労働時間それに充てられたらいいのですが、役場の組織は、例えば子育てだったら子育て支援課だったり、道路のことだったら都市施設整備課だったり、それぞれの担当で業務を分担しています。

新しい出来事についての情報が一番先に入手できるのは各担当者なので、各担当者がめいめいに新しいものを更新していく方法をとっています。

ホームページのリニューアルと一緒にそのやり方をガラッと変えられるかという、なかなか組織体制を大きく変えることは難しく、委員がやってほしいとおっしゃるのはそういうことかなと思うんですが、秘書広報課としてもできるだけテーマを持って、町の人の特集記事とか、こういうことをやってるんだっていうものを積極的に取り上げて欲しいということを、各課のホームページ更新の担当者である情報発信委員に対して、秘書広報課が旗振り役になって取り組んでいこうと思っています。

まだそれが目に見えて良くなったと感じていただけるかわかりませんが、なるべくそのように取り組んで、新しいものとか、皆さんが興味あるキーワードに、きちんと到達できるような作りになるように目配り気配りをしていきたいです。

しかしながら、それを秘書広報課の担当者2名を中心に回している現状です。紙の広報誌についても担当しており、Webだけが仕事というわけではないため、行き届かない部分もあるのが現状です。

(委員)

それは大変な事務量であると思います。

各課の感じる、生の部分ってありますよね。それにフィルターをかけたりいろいろ

しながら発信していかないと町としての情報レベルまでいかない気がしています。

そういったシステムのなところをシティプロモーションの担当できちんとできるようにしていかないと、町の発信力は弱まると思います。

(委員)

委員の意見は重要で、他の市町の例を見るとシティプロモーション課という独立した課があったりします。それを秘書広報課がオーバーワークでやっている限り、現状を変えることが難しいかもしれません。

(委員)

例えばアグリパークにテレビなどのロケが来たとして、相手方から話があるとありますが、例えば町側から働きかけることにより、杉戸町のPRができる可能性もありますし、ノウハウを蓄積していかないと、急にロケの話がきても対応できず慌ててしまうと思います。

シティプロモーション課みたいなものが独立して、施策として推進できたらと思います。

(秘書広報課)

貴重なご意見受け止めて、なるべくそのように努めていきたいなと思います。

(委員)

私は白岡市のシティプロモーションをお手伝いしています。白岡市のホームページに「白岡美人」という言葉が出ていました。市外の人が見たら、白岡に素晴らしい美人がいるとしか思うかもしれない。でも実は、梨の品種なんです。

要するに、市内の人には何のことだかわかっていても、市外の人にはわからないこともあります。そういうことへの情報発信を考える専門の部署が必要だと思います。

(委員)

秘書広報課が多岐にわたる情報発信を少人数で取りまとめているとすごく大変だなと思います。

杉戸町には宣伝大使と応援サポーターがいらっしゃいますが、ホームページ上の宣伝大使についてのページが平成23年5月にアグリパークイベントに参加したときのものが最終更新になっていました。ちょっと古いかなと思いますので、秘書広報課の範

疇ではないかもしれませんが、新しく更新できるようであればお願いしたいです。

また、応援サポーターの「ババババンビ」についても、特に若い世代に知ってもらうことが目的かと思しますので、もっと前面に出してPRしてもいいのではないかと思います。

(委員)

本当に少ない人数の中、頑張っていると思います。今回、ホームページをリニューアルによりソフト面でシティプロモーションの第一歩を踏み出したところかなと思います。この杉戸町が誇るハード面として例えばアグリパークがあります。

町外の方で観光とか農業に興味がある方は、アグリパークのホームページを訪れると思いますが、せっかくシティプロモーションサイト「スギトゴト」といういいものを作っているのに、直接「スギトゴト」にアクセスできるようなバナーを出せたらいいと思います。

アグリパークのホームページに、杉戸町や商工会のバナーはあるものの、「スギトゴト」のバナーはないため、杉戸町のホームページを経由すると「スギトゴト」にたどり着くまでに時間がかかってしまう。

バナーがついていれば、杉戸のことを知りたい人に対して、少しの手間で、「スギトゴト」にたどり着くって仕組みが作れるのかなと思う。

(秘書広報課)

外部のホームページであるアグリパークや観光協会といったところに「スギトゴト」のバナーをつけられないかというアイデアに対しては、相談して検討してみたいと思います。ありがとうございます。

(委員)

例えば熱海市では市の職員がロケーションサービスに積極的に取り組み、どんどん広がっているという事例もあるそうです。杉戸町もアグリパークとかでいろんな形でロケに使われています。しかし、町側からアプローチではないと思います。

目新しいものではなくても、元々あるこの田舎の風景や、江戸川の河川敷だとか、ちょっと寂れたお店がある場所とかっていうものも、ある意味でシティプロモーションになるいい場所は、結構杉戸町にあると思います。そういったところをリスト化し

て提案をすれば、労力をかけずにアプローチできるのかなと思いますし、ゆくゆくは杉戸町に注目が集まって、いろんな人が来てくれるといいかなと思っております。

杉戸高野台駅前が「スカッとジャパン」という番組のロケに使われたことがあり、私も「すまえるプロジェクト」という団体のメンバーとしてボランティアでお手伝いしたことがあります。

ただ単にロケに使えますというだけではなく、ロケに必要な段取りやロケのスタッフに町で協力してあげることが、ロケに使われるための魅力になると思います。ここにロケに来ると、ロケのスタッフたちに協力する体制がある。そんなメリットがあると訴えることができると思います。

休憩場所として公民館などを用意するというだけでもロケのスタッフの負担が少なくなり、ロケのしやすさが全然違ってくるので、そういった部分を考えながらやっていくともっと広がっていくのかなと感じました。

議事（3）「第6次杉戸町総合振興計画 後期基本計画の策定状況について」

- ・事務局より、後期基本計画の策定状況について報告。

質疑なし